

## プラン 8 川崎の魅力を育て発信する取組

### アクションプログラム

#### 1 音楽のまち・かわさきの推進 【進捗状況区分 3】

##### 【主な実施結果】

「音楽のまち・かわさき」推進協議会を中心に、民間活力を活かした音楽のまちづくりを推進

- ・推進協議会を支援して、情報発信、人材育成、その他民間主体の活動等の着実な推進を図りました。
- ・「アジア交流音楽祭」では、6つの交流ステージの開催で過去最高の7万人が来場し、経済労働局所管の「かわさきアジアフェスタ」との連携で、川崎駅周辺のまちの賑わいを創出しました。また、本市の友好港を有するベトナム・ダナン市からダナン伝統音楽団を招聘し、「アジア交流音楽祭」への参加をとおして両市の交流と市民のダナン市への理解を深めました。
- ・「交流の響き」には、過去最多の全国の地方新聞社主催音楽コンクール入賞者が参加し、「音楽のまち・かわさき」を全国に強力に発信することができました。
- ・民間主体の事業を支援することで、京浜ロック音楽祭、カワサキストリートミュージックバトル 等を開催することができました。
- ・「子どものためのオーケストラ鑑賞」は児童生徒にミュゼ川崎シンフォニーホールという会場で、本物のオーケストラを鑑賞する機会を設けることができました。
- ・ミュゼ川崎シンフォニーホールで開催した「第5回子どもの音楽の祭典」は、オーディション選考したジョイフルバンド 122名の演奏に市内小中学生約300名の合唱団の歌声をのせて披露した「かわさきのねいろ」を盛り込んだこともあり、延べ入場者数は1,600人を数える盛況で、川崎の子どもたちが音楽のすばらしさを味わい、体験することができました。

##### ミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点とする「音楽のまち・かわさき」の推進

- ・「フェスタサマーミュゼ」や海外オーケストラによる演奏会の開催を通じて、市民への良質な音楽の提供と国際的知名度の向上を図ることができました。
- ・平成21年度に、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館5周年を迎えるにあたり、魅力あるホール運営に取り組むことができました。

##### 【課題と今後の取組】

- ・「音楽のまち・かわさき」5周年を意識した情報発信や事業展開を行い、更なる「音楽のまちづくり」の推進を図ります。
- ・アメリカ合衆国ボルチモア市との姉妹都市提携30周年を記念した音楽交流事業を実施します。
- ・ミュゼ川崎シンフォニーホールの開館5周年記念式典及び福島市との交流による古関裕而をテーマとした公演を実施します。
- ・ミュゼ川崎シンフォニーホールの開館5周年を記念した公演を含め、多彩で質の高い公演を実施し、さらに魅力あるホール運営に取り組めます。
- ・「子どもの音楽の祭典」におけるオーディションのあり方やコンテスト部門の検討、ジョイフルバンドの参加者増を図り、より多くの参加者を得る必要があります。また、プログラム構成などの検討を進め、より音楽に親しみやすい機会とするとともに、広く市民や音楽関係者に向けて広報・周知をして、祭典当日の来場者の増を図る必要があります。

#### 2 ホームタウンスポーツの振興 【進捗状況区分 3】

##### 【主な実施結果】

ホームタウンスポーツ推進パートナーの連携による、川崎のアピール・魅力づくり

- ・ポスター掲出、ビデオ放映によるホームタウンスポーツのPR・広報を推進し、市の魅力発信を行いました。
- ・小中学生への実技指導や試合への市民招待などを通じてスポーツの振興を図り、多くの市民が一流選手とふれあうことができました。

## アクションプログラム

### 川崎フロンターレの支援と応援を通じたスポーツ振興・青少年の健全育成

- ・川崎フロンターレ後援会会員数は、昨年度から 3,503 人増え 20,189 人となりました。また観客動員数は、298,597 人でした。
- ・小・中学校での巡回サッカー教室、区民祭等への参加及び川崎フロンターレをイメージするカラーによる街の装飾を行いました。

### アメリカンフットボールの魅力を活かした活力あるまちづくり

- ・川崎をアメリカンフットボールの拠点にするため、日本アメリカンフットボール協会、日本フラグフットボール協会と協働で、アメリカンフットボールを活用したまちづくり取組指針（案）を取りまとめました。
- ・アメリカンフットボールを活用したまちづくりを効果的に推進するため、「アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進委員会」を設置しました。
- ・地域イベントの活用や広告物の掲出などを通じて競技の魅力を広報・PRし、地域活性化に貢献しました。

### 総合型地域スポーツクラブの育成を通じた、地域に根ざしたスポーツの振興

- ・準備会での指導助言や周知啓発イベント等を通じたクラブの育成支援の結果、「幸総合型スポーツクラブ PLUM」が設立され、クラブ数が 5 クラブとなりました。

### 多摩スポーツセンターの整備

- ・多摩スポーツセンター建設に向けて、用地取得、条例改正及び基本設計・実施設計を行いました。

### 「日本陸上競技選手権大会」開催に向けた施設整備と、「スーパー陸上競技大会 2008」開催と連携したスポーツ振興

- ・第 1 種及び第 3 種公認の取得と、仮設記者席・防風対策シート等の設置及び備品の購入・リース・修繕等の準備を実施し、6 月 26 日から 29 日の 4 日間で「第 92 回日本陸上競技選手権大会・第 29 回オリンピック競技大会代表選手選考競技会」を開催しました。
- ・「スーパー陸上競技大会 2008」は本市初となる大会を 2 万人を超える観客の中で開催することができました。また、陸上競技を中心としたスポーツクラブの事業運営を支援し、サブイベントやアフターイベントとして陸上競技に関する教室等を開催しました。

### 【課題と今後の取組】

- ・ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組を継続して進め、パートナーのスポーツ活動をさらに市内外に発信していきます。
- ・川崎フロンターレの支援と応援を継続するとともに、巡回サッカー教室の開催及び区民祭等への参加を促し、市民の連帯感を深めるとともに、スポーツ振興・青少年の健全育成などを進めます。
- ・アメリカンフットボールを活用したまちづくり取組指針（案）を基に、設立した「アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進委員会」を中心として、アメリカンフットボールの魅力を活かした活力あるまちづくりを推進します。
- ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援については、各区 1 クラブを目指し、引き続きクラブ設立や育成の支援を行います。
- ・多摩スポーツセンターの整備については平成 22 年の開館に向けて、建設工事や管理運営の準備を進めます。
- ・スーパー陸上競技大会を継続して開催するとともに、サブイベントやアフターイベントの教室も実施し、陸上競技の普及を進めます。

### 3 多摩川プランに基づく重点施策の推進 【進捗状況区分 3】

#### 【主な実施結果】

#### 多摩川における豊かな河川空間の創出をめざす「多摩川プラン」の推進

- ・二子橋周辺エリアの再整備について、国と協議・調整を行いました。
- ・集中豪雨により破損したマラソンコースの復旧工事を行うとともに、再整備について国と協議・調整を行いました。
- ・多摩川プラン推進のため、多摩川プラン庁内推進会議及び多摩川プラン推進会議を開催し、進捗状況確認及び課題整理を行ったほか、等々力・丸子橋周辺エリアの再整備や「川崎市多摩川サイン計画」の策定、駐車料金等の改定（案）の検討を実施しました。
- ・多摩川プランにおける大師河原周辺エリアへの植樹を、殿町スーパー堤防第 1 期工区内の関係者と協議・調整をしたうえで実施しました。
- ・「多摩川エコミュージアムプラン」推進に向けた多摩川プランの「リーディングプロジェクト」事業である、冬季の鮎の調査や「かわさき多摩川博 2008」等の協働事業を実施し、市民相互のネットワークづくり及び情報発信を推進しました。
- ・水辺の楽校については、既存の 2 校（かわさき、とどろき）で月 1 回程度開催される活動を支援するとともに、市内 3 校目の水辺の楽校開校に向けた取り組みとして、水防センターを拠点に町内会や消防団、地域ボランティア等との連携によるイベントや環境学習を開催しました。
- ・多摩川沿線の景観計画に基づく届出業務において、多摩川景観形成ガイドラインに基づいた景観誘導を行いました。
- ・多摩川沿線において形態意匠条例を活用した地区計画を定める際、多摩川景観形成ガイドラインに基づいた景観誘導を行いました。

#### 【課題と今後の取組】

- ・マラソンコースについては、第 2 期実行計画において再整備を実施していくが、再整備にあたっては、集中豪雨や台風による破損を最小限に抑える為、コースの構造を見直す必要があります。（平成 20 年度においては、構造の見直しについて国と協議・調整を行いました。）
- ・多摩川沿線の景観計画に基づく届出業務及び形態意匠条例を活用した地区計画を定める場合において、多摩川景観形成ガイドラインに基づいた景観誘導を継続して行います。

### 4 地域の魅力発信・活性化と連携した文化芸術振興 【進捗状況区分 3】

#### 【主な実施結果】

#### 文化芸術振興計画に基づく、文化芸術振興施策の総合的・計画的な推進と市民の創造的活動による、文化芸術を活かした個性豊かな地域づくり

- ・文化芸術振興計画による施策の推進を図り、文化芸術振興会議の審議による文化アセスメントの実施準備及び試行を実施しました。
- ・「音楽のまちづくり」の施策の総合評価に向けた事前調査を実施しました。
- ・平成 21 年春のゴールデンウィークに実施される「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカ しんゆり）2009」イベント開催に向けた検討・準備・調整を行い、アートを活かしたまちづくりのモデル事業としての企画・準備業務を実施しました。

#### 新百合ヶ丘駅周辺地区を中心とした芸術を通じた魅力と活力あるまちづくり

- ・約 1 か月間の長期間にわたり川崎市アートセンターを拠点として「KAWASAKI しんゆり映画祭」を開催し、新しくオールナイト上映会や青空市場、物産展を実施するなど市民との交流やまちづくりに向けた取組を行いました。
- ・新百合ヶ丘南口に芸術のまちにふさわしい案内板（サイン）8 基を設置しました。
- ・「しんゆり・芸術のまち」を推進する「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムの情報発信の強化に向けて、「しんゆり・芸術のまち」ホームページのリニューアルを実施（平成 20 年 10 月 15 日）するとともに、地域メディア向け「しんゆり・芸術のまち」ニュースを 6 回発行しました。



## アクションプログラム

- ・「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと専修大学との連携した取組として、フラッグコンテスト、しんゆりフードフェスなど8つのプロジェクト（取組参加人数 86 名による企画）を実施し、効果的な発信を行いました。
- ・まちおこしの効果性を高め、地域の活性化に寄与するため、シンポジウム「芸術のまちづくりと地域の活性化」を平成 21 年 3 月 26 日に開催しました。
- ・「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムを中心として市民、事業者、商業者、大学関連（昭和音楽大学、日本映画学校、専修大学）等のネットワークにより、幅広い事業連携が確立されました。

### 藤子・F・不二雄ミュージアムの整備

- ・覚書の締結に向け、関係事業者との最終調整を行いました。
- ・基本計画（案）の公表に向け、関係事業者と最終案の確認を行いました。
- ・生田緑地サマーナイトミュージアムにおいて連携イベントを実施するとともに、国際多摩川マラソンや川崎フロンターレ対ガンバ大阪戦においてドラえもん型ソーラーカーの活用によるイベントを開催し、ミュージアム開館へ向けたPRを行いました。

### 青少年科学館の改築整備

- ・生田緑地の総合インフォメーションサテライト機能やレストハウス機能の整備を併せた青少年科学館改築整備を行うための改築及び展示の基本設計を実施しました。

### 映像関連の民間の動きとの連携による映像を核としたまちづくりの推進

- ・「映像のまち・かわさき」推進フォーラム及びNPO法人MOVEART応援隊の立上げを支援しました。
- ・韓国の京畿道、富川市との連携を図り、内外への積極的な情報発信を行いました。
- ・川中島小学校5年生の映画制作等、他分野にわたるモデル連携事業を展開しました。

### 【課題と今後の取組】

- ・文化芸術振興会議による文化アセスメントを実施するとともに、文化芸術関連事業の進捗を管理することにより、文化芸術振興計画の推進を図ります。
- ・「音楽のまちづくり」の施策の総合評価に向けて、定性調査などを実施します。
- ・「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2009」を開催し、地域からの盛り上げを演出できたか等について、終了後、検証を行い、市民主体のアートプロジェクト等を促進させる検討を進めます。
- ・「KAWASAKI しんゆり映画祭」はこれまでの実績を踏襲し、「映像のまちかわさき」との連携を強化します。
- ・「新百合ヶ丘駅周辺地区を中心とした芸術を通じた魅力と活力あるまちづくり」については、これまでの取り組みを基盤として、「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムがさらに機動的な活動を行うために、NPO法人化に向けた準備を進めていきます。法人化することにより、組織の自由な活動を促進し、地域資源を活用した地域の活性化に向けた新たなまちづくりへの展開を見込むことが可能になります。
- ・「藤子・F・不二雄ミュージアムの整備」については、平成 20 年度に内容確認を終えた覚書の公表について時期を調整するとともに、覚書に基づき事業を推進し、本市の基本計画の策定、基本設計に関する関係者との調整や負担付き寄附への対応等を行います。
- ・「青少年科学館の改築整備」については、平成 23 年度のリニューアルオープンを目指し、建築及び展示の実施設計とプラネタリウムの開発を行います。
- ・「映像関連の民間の動きとの連携による映像を核としたまちづくりの推進」については、取り組みの成果として、市内外から新たな事業提携・事業展開の提案を受けており、民間企業、教育機関、放送事業者、地域団体等と連携して提案の実現に向けて取り組みを進めていきます。

## 5 シティセールスの推進と観光振興 【進捗状況区分 3】

### 【主な実施結果】

#### 産業を核とした地域環境資源の創出・拡充と多様な情報発信

- ・産業観光検定（初級・上級）を3月8日（日）に実施するとともに、産業観光施設を中心に、新たな川崎の観光資源を取り入れた「産業観光モニターツアー」を計8回実施しました。
- ・東北地方にある中学校の修学旅行誘致のため、盛岡市・仙台市の大手旅行会社を訪問し、本市の産業観光のPRを行いました。
- ・日本観光協会等が主催する第2回産業観光まちづくり大賞の「銀賞」を受賞し、本市の産業観光の取り組みが新聞・雑誌・ラジオ等で数多く取り上げられ、更なる本市のPRを行うことができました。
- ・観光パンフレットの発行・改訂や、ホームページへのCMSの導入など、多様な媒体を活用して、効果的・効率的な情報発信を行いました。
- ・外国語ホームページの作成、ビジット・ジャパン・キャンペーンの実施及び観光パンフレット（英語・中国語・韓国語）の作成などにより外国人観光客の受入体制の整備を行ったほか、市民文化の創造と地域経済の活性化を推進するため、かわさき市民祭りを開催しました。

#### さまざまなメディアの活用や民間事業者との連携によるシティセールスの推進

- ・新聞、情報誌等におけるイメージアップ広告の掲載やパンフレットの製作・配布、プロモーションビデオの放映等により本市の魅力を生かして市内外に情報発信しました。また、各種メディアにメディアツアー等のパブリシティ活動を積極的に展開し、様々な情報誌等に本市の魅力情報が取り上げられました。
- ・イメージアップ認定事業として、8件を認定し、民間活力と連携した魅力づくりや情報発信を行いました。
- ・フォーリンプレスセンター、在留外国人向けメディア（英字新聞等）の活用や多言語版パンフレットの製作・配布により海外に向けた情報発信を行いました。

### 【課題と今後の取組】

- ・市内の産業観光施設などを活用した民間主導による「川崎産業観光ツアー」や「川崎産業観光検定」の実施、教育旅行の誘致、産業観光シンポジウムの開催などにより、市民をはじめとする多くの方々から川崎の産業観光に触れ、理解する取組を推進するとともに、飲食やショッピングなど市内で消費してもらう方策について、引き続き検討していきます。
- ・観光パンフレットの発行、ホームページのイベント情報の定期的な更新による情報発信を引き続き行うとともに、観光情報の携帯端末ホームページの開設を新規に行うなどして、情報発信の強化に取り組んでいきます。
- ・各種メディアとのリレーションを強化しながら、積極的なパブリシティ活動を推進し、さらに費用対効果の高い本市魅力情報の発信を図ります。
- ・イメージアップ事業認定制度などによる民間活力と連携した本市イメージアップの推進を図ります。
- ・海外向けパブリシティ活動及び情報の多言語化による情報発信を推進します。

# 施策計画

施策計画名	現状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

## アクションプログラム：音楽のまち・かわさきの推進

<b>音楽のまちづくりの推進</b> 「音楽のまち・かわさき」推進協議会を中心に、民間活力を活かした音楽のまちづくりを推進します。また、市内の身近な場所での良質な音楽の提供と交流による、音楽のまちづくりを推進します。	「音楽のまち・かわさき」推進協議会の支援	「音楽のまち・かわさき」推進協議会の支援		「音楽のまちづくり」の施策の総合的評価等を踏まえた検討	事業推進
	「アジア交流音楽祭」、「交流の響き」等の開催支援 民間活力を活かした事業推進	「アジア交流音楽祭」、「交流の響き」等の開催支援 民間活力を活かした事業推進の拡充			
	「姉妹都市リエカ市との提携30周年」、「姉妹都市ウーロンゴン市との提携20周年」記念コンサートの開催	友好港ダナン市が「アジア交流音楽祭」に参加	「姉妹都市ボルチモア市との提携30周年記念コンサート」の開催	国際交流コンサートの開催	
	東京交響楽団による巡回コンサートの開催 アマチュア演奏家による「音楽のまちコンサート」の開催	東京交響楽団による巡回コンサートの開催 アマチュア演奏家による「音楽のまちコンサート」の開催			
	「子どもの音楽の祭典」の実施	「子どもの音楽の祭典」の実施			

<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	・「音楽のまち・かわさき」推進協議会を中心として、情報発信、人材育成、その他民間主体の活動等の着実な推進を図りました。 ・「アジア交流音楽祭」では、6つの交流ステージの開催で過去最高の7万人が来場し、経済労働局所管の「かわさきアジアフェスタ」との連携で、川崎駅周辺のまちの賑わいを創出しました。 ・「交流の響き」には、過去最多の全国の地方新聞社主催音楽コンクール入賞者が参加し、「音楽のまち・かわさき」を全国に強力に発信することができました。 ・民間主体の事業を支援することで、「京浜ロック音楽祭」、「カワサキストリートミュージックバトル」等を開催することができました。 ・本市の友好港を有するベトナム・ダナン市からダナン伝統音楽団を招聘し、「アジア交流音楽祭」への参加及び「川崎市・ダナン市交流コンサート」の開催をとおり両市の交流と市民のダナン市への理解を深めました。 ・フランチャイズオーケストラである、東京交響楽団による市内巡回公演を実施し、市民に良質な音楽に触れる機会を提供しました。 ・「音楽のまちコンサート」を開催し、アマチュア音楽家の発表の機会を提供しました。 ・「子どもの音楽の祭典」には、ジョイフルバンド122名、合唱団約300名、延べ入場者1,600名以上の参加があり、盛況に実施されました。
-------------	-------------	---

<b>川崎シンフォニーホールの運営</b> 「音楽のまち・かわさき」の中核施設として市民に良質な音楽を提供するとともに、国際的知名度の向上を図ります。	「フェスタサマーミュージア」の開催 海外オーケストラによる演奏会の開催	「フェスタサマーミュージア」の開催 海外オーケストラによる演奏会の開催		ミューザ川崎シンフォニーホール開館5周年事業の実施	事業推進
--	--	--	--	---------------------------	------

<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	・フェスタサマーミュージアKAWASAKI2008を開催し、来場者の総数は37,031人となりました。 ・ウィーンフィルハーモニー管弦楽団及びベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の公演を開催しました。 ・ミューザ川崎シンフォニーホールの運営を計画どおり実施し、平成21年度に開館5周年を迎えるにあたり、魅力あるホール運営に取り組むことができました。
-------------	-------------	---

# 施策計画

施策計画名	現状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
アクションプログラム：ホームタウンスポーツの振興					
ホームタウンスポーツの推進 ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組を進め、川崎のアピール・魅力づくりを図ります。	ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組の推進(7団体、1個人認定)	ホームタウンスポーツ推進パートナーと連携した取組の推進			事業推進
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター掲出、ビデオ放映によるホームタウンスポーツのPR・広報を推進し、市の魅力発信を行ったほか、小中学生への実技指導や試合への市民招待などを通じてスポーツの振興を図り、多くの市民が一流選手とふれあうことができました。</li> </ul>			
Jリーグクラブの支援 川崎フロンターレの支援と応援を通して、市民の連帯感を深めるとともに、スポーツ振興・青少年の健全育成などを進めます。	市制記念試合等に市民招待の実施 小・中学校での巡回サッカー教室の開催 川崎フロンターレの区民祭等への参加促進	市制記念試合等に市民招待の実施 小・中学校での巡回サッカー教室の開催 川崎フロンターレの区民祭等への参加促進			事業推進
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎フロンターレ後援会会員数は、昨年度から3,503人増え20,189人となりました。また観客動員数は、298,597人でした。</li> <li>市制記念試合(7月26日)への1,000人の市民招待を実施し、900人の来場がありました。</li> <li>小・中学校での巡回サッカー教室、区民祭等への参加及び川崎フロンターレをイメージするカラーによる街の装飾を行いました。</li> </ul>			
アメリカンフットボールを活用したまちづくりの推進 競技団体、地域、市民と連携しながら、アメリカンフットボールの魅力を活かした活力あるまちづくりを推進します。	「第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」の開催 日本アメリカンフットボール協会との協定締結 アメフトを活用したまちづくり懇談会の設置 アメフトを活用したまちづくりに向けた基本的考え方の検討 フラッグフットボール普及促進等による青少年の健全育成の推進	川崎をアメフトの拠点にするための取組の検討及び関係機関との調整 イベントへの選手・チアリーダーの参加などアメフトを活用した地域活性化策の推進 フラッグフットボール普及促進等による青少年の健全育成の推進 アメフトの普及方策の検討	川崎をアメフトの拠点にするための取組の実施		事業推進
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎をアメリカンフットボールの拠点にするため、日本アメリカンフットボール協会、日本フラッグフットボール協会と協働で、アメリカンフットボールを活用したまちづくり取組指針(案)を取りまとめました。</li> <li>アメリカンフットボールを活用したまちづくりを効果的に推進するため、「アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進委員会」を設置しました。</li> <li>地域イベントの活用や広告物の掲出などを通じて競技の魅力を広報・PRし、地域活性化に貢献するとともに、アメリカンフットボールの普及方策を検討しました。</li> <li>市内小中学校等におけるフラッグフットボールの普及を促進するとともに、競技団体と定期的に意見交換を行いました。</li> </ul>			
総合型地域スポーツクラブの育成 地域住民が主体となって運営する総合型地域スポーツクラブを育成して、地域に根ざしたスポーツ振興を推進します。	クラブ数 4クラブ	クラブ数 4クラブ	クラブ数 5クラブ		各区で展開
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブの設立に向けた育成支援の結果、幸総合型スポーツクラブ「PLUM」が設立され、クラブ数が5クラブになりました。</li> </ul>			

## 施策計画

施策計画名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

進捗状況区分の内容については9ページをご参照ください。



## 施策計画

施策計画名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
多摩スポーツセンターの整備 市民の健康増進及び体力の向上を図る地域のスポーツ拠点として、多摩スポーツセンターを整備します。	PFI手法による整備推進に向けた取組	多摩スポーツセンター用地取得 基本・実施設計	建設工事着手	完成・開館	
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 <b>3</b>	・多摩スポーツセンター建設に向けて、用地取得、条例改正及び基本設計・実施設計を行いました。			
日本陸上競技選手権大会の開催 日本陸上競技選手権大会の円滑な運営に向け、等々力陸上競技場の第1種公認化等に必要な施設整備を行います。	等々力陸上競技場整備工事 等々力緑地中央グラウンド整備工事 陸上競技備品の購入	円滑な大会運営に向けた施設整備 等々力陸上競技場及び中央グラウンドの第1種及び第3種公認手続の実施			
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 <b>3</b>	・第1種及び第3種公認の取得と、仮設記者席・防風対策シート等の設置及び備品の購入・リース・修繕等の準備を実施し、6月26日から29日の4日間で第92回日本陸上競技選手権大会・第29回オリンピック競技大会代表選手選考競技会を開催しました。			
スーパー陸上競技大会2008の開催 地域スポーツ活動の振興を図るとともに、スーパー陸上競技大会開催と連携したスポーツ振興に取り組みます。		スーパー陸上競技大会2008開催と連携したスポーツ振興の取組の実施			
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 <b>3</b>	・スーパー陸上競技大会を本市で初めて開催し、2万人を超える観客動員となりました。また、サブイベントやアフターイベントを多数開催し、市民スポーツの振興に取り組みました。			

**施策計画**

施策計画名	現状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

アクションプログラム：多摩川プランに基づく重点施策の推進

施策計画名	現状	目 標				事業推進	
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降		
多摩川プランの推進 市民団体等と連携しながら、多摩川における豊かな河川空間の創出をめざす「多摩川プラン」の推進に取り組みます。	多摩川プランの策定 多摩川プラン推進会議の運営 二子橋周辺エリア整備	多摩川プラン推進会議の運営	→			事業推進           マラソンコース整備完了(2013年度)	
		二子橋周辺エリア整備	→				
	簡易水洗トイレ設置	等々力・丸子橋地区周辺エリア整備			上平間・古市場周辺エリア整備		
		簡易水洗トイレ設置	→				
	幸区船着場周辺への植樹	マラソンコース整備					
		施設利用にあたっての利用者負担のあり方検討					
		大師河原周辺エリアへの植樹	→				
	二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働	国のスーパー堤防や沿川市街地整備等にあわせた関係者との協議による並木の創出					
		二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働		二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働	二ヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働		
	多摩川プランの推進	「かわさき多摩川博」の開催など		「かわさき多摩川博」の開催 二ヶ領せせらぎ館開館10周年記念事業 など	「かわさき多摩川博」の開催など		
多摩川プランの推進		→					
多摩川鮎再生事業 「ふるさと資産・遺産」活用事業 など	多摩川鮎再生事業	→					
	「ふるさと資産・遺産」活用事業 など						
水辺の楽校(かわさき、とどろき)2校の支援(宿河原、等々力)	水辺の楽校(かわさき、とどろき)2校の支援(宿河原、等々力)	→					
	市内3校目の水辺の楽校の設立準備(大師河原)			市内3校目の水辺の楽校の設立(大師河原)			
水防センターの管理運営	水防センターの管理運営	→					

<b>実施結果</b>	進捗状況区分	<p>・多摩川プラン推進のため、等々力・丸子橋地区周辺エリアの再整備や「川崎市多摩川サイン計画」の策定、冬季の鮎の調査や「かわさき多摩川博2008」等の協働事業を行うとともに、多摩川プラン推進会議等を開催し、多摩川プランの進捗状況確認や課題整理を行いました。</p> <p>・二子橋周辺エリアの再整備について、国と協議・調整を行いました。</p> <p>・集中豪雨により破損したマラソンコース復旧工事を行うとともに、再整備について国と協議・調整を行いました。</p> <p>・簡易水洗トイレは丸子橋2箇所に設置しました。</p> <p>・施設利用にあたっての利用者負担のあり方については、料金の改定や管理運営方法の素案を取りまとめました。</p> <p>・大師河原周辺エリアのスーパー堤防事業にあわせた植栽を実施するとともに、スーパー堤防事業等に合わせた植樹についても関係機関との協議・調整を行いました。</p> <p>・水辺の楽校2校の支援については、月1回程度開催される活動を支援するとともに、3校目の水辺の楽校開校に向けた取組みとして、水防センターを拠点に市民団体等との連携によるイベントや環境学習を開催しました。</p>
	3	

進捗状況区分の内容については9ページをご参照ください。

# 施策計画

施策計画名	現状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

## アクションプログラム：地域の魅力発信・活性化と連携した文化芸術振興

<p>文化行政の推進 文化芸術振興計画に基づき、文化芸術振興施策を総合的・計画的に進めます。</p>	<p>「文化芸術振興計画」の策定 文化アセスメントの検討 「音楽のまちづくり」の施策の総合的評価に向けた検討・調整</p>	<p>計画に基づく文化行政施策の推進 文化アセスメントの試行実施 評価に向けた事前調査</p>	<p>文化アセスメントの本格実施 評価に向けた本調査</p>	<p>文化アセスメントの推進 評価結果の公表</p>	<p>事業推進</p>
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 3</p>	<p>・「文化芸術振興計画」による施策の推進を図り、文化芸術振興会議の審議による文化アセスメントの実施準備及び試行を実施しました。 ・「音楽のまちづくり」の施策の総合評価に向けた事前調査を実施しました。</p>				
<p>アートを活かしたまちづくりの推進 市民の芸術文化の創造・発信・交流を促進するとともに、メディアアートや市民によるアートプロジェクトなどの創造的活動を促進し、アートを活用したまちづくりを推進します。</p>	<p>「アートセンター」の開館  「芸術のまちイベント」開催に向けた検討</p>	<p>青少年舞台芸術活動等の創造的事業の実施 アーティストの育成 「芸術のまちイベント」開催に向けた検討・調整</p>	<p>「芸術のまちイベント」の開催</p>		<p>事業推進</p>
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 3</p>	<p>・川崎市アートセンターでは、芸術文化を創り、楽しむとともに、アーティストの育成につながる芸術文化の創造、発信・交流を促進する多彩な事業(青少年舞台芸術活動等)を実施しました。 ・平成21年春のゴールデンウィークに実施される「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ)2009」イベント開催に向けた検討・準備・調整を行い、アートを活かしたまちづくりのモデル事業としての企画・準備業務を実施しました。</p>				
<p>しんゆり・芸術のまちの推進 新百合ヶ丘駅周辺地区を中心に、芸術を通じた魅力と活力あるまちづくりを推進します。</p>	<p>「KAWASAKIしんゆり映画祭」の開催 地域メディア、インターネット等による情報発信 新百合ヶ丘駅周辺に案内板(サイン)の設置</p>	<p>「KAWASAKIしんゆり映画祭」の開催 地域メディア、インターネット等による情報発信 総合的な案内板(サイン)等の整備</p>			<p>事業推進</p>
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 3</p>	<p>・約1か月間の長期間にわたり川崎市アートセンターを拠点として「KAWASAKIしんゆり映画祭」を開催し、新しくオールナイト上映会や青空市場、物産展を実施するなど市民との交流やまちづくりに向けた取組を行いました。 ・芸術のまちにふさわしい案内板(サイン)の整備や様々なメディアの活用による情報発信を行いました。 ・「しんゆり・芸術のまち」を推進する「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムを中心として市民、事業者、商業者、大学関連(昭和音大、映画学校、専修)等のネットワークにより、幅広い事業連携が確立されました。これに伴い、広報活動とともに、個々のイベント等同士が連携しジャンルを超えた多くの人材がかかわることで、相乗効果が生まれ、地域の活性化につながりました。</p>				

# 施策計画

施策計画名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
藤子・F・不二雄ミュージアムの整備 藤子プロから寄贈予定の「藤子・F・不二雄ミュージアム」を関係事業者と連携し、開館に向けた取組を進めます。また、藤子氏の作品の有効活用を図りながら、市北部の新たな魅力の発信拠点となるよう整備します。	整備に向けた基本合意の締結  立地場所の決定 関係事業者との基本構想の調整  かわさき市民祭りと連携したイベントの実施	覚書の締結に向けた関係事業者との調整  関係事業者との基本計画の調整  プレイベントの開催	覚書に基づく事業推進  関係事業者との基本設計・実施設計の調整 文化施設の寄附行為に対する藤子プロとの調整	→  工事着手  新たな文化施設の設置条例の制定  →	開館(2011年秋)
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚書の締結に向け関係事業者との最終調整を行うとともに、ミュージアム整備に向けた基本計画(案)について、公表に向けた最終案の確認を行いました。</li> <li>・生田緑地サマーナイトミュージアムにおいて連携プレイベントを実施するとともに、国際多摩川マラソンや川崎フロンターレ対ガンバ大阪戦においてドラえもん型ソーラーカーの活用によるプレイベントを開催し、ミュージアム開館へ向けたPRを行いました。</li> </ul>			
青少年科学館の改築整備 青少年科学館の再整備に加え、生田緑地のビジターセンターや総合インフォメーション、レストハウスを整備します。	基本計画	基本設計	実施設計	工事着手	完成・開館(2011年度)
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生田緑地の総合インフォメーションサテライト機能やレストハウス機能の整備を併せた、青少年科学館改築整備を行うための改築及び展示の基本設計を実施しました。</li> </ul>			
映像のまち・かわさきの推進 映像関連の民間の動きとの連携により本市の魅力を発信し、映像を核としたまちづくりを推進します。	映像のまち・かわさき推進のための調査研究、モデル事業の検討	「(仮称)映像のまち・かわさき推進フォーラム」の立ち上げ フィルムサポートの立ち上げ モデル連携事業の実施 アジアとの連携事業	(仮称)映像のまち・かわさき推進フォーラム運営支援事業 フィルムサポートとの連携	→  →  →  →	事業推進
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「映像のまち・かわさき」の発展に向けて、「映像のまち・かわさき」推進フォーラム及びNPO法人MOVEART応援隊(フィルムサポート)の立ち上げ支援をするとともに、韓国の京畿道、富川市との連携を図りました。</li> <li>・モデル連携事業については年度当初の想定事業に加え、多分野での事業(川中島小学校5年生の映画制作、かわしんビジネスフェア出展、高校生向け試写会の実施等)を進めることができ、その効果として市内外からの新たな事業提携や事業展開の提案も受けた。</li> </ul>			

進捗状況区分の内容については9ページをご参照ください。

# 施策計画

施策計画名	現状	目標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降

## アクションプログラム：シティセールスの推進と観光振興

<b>観光の振興</b> 多様な広報戦略を展開し、観光による市内への集客を推進するとともに、観光協会、商工会議所、市内企業等と連携して産業を核とした地域観光資源の創出・拡充を図ります。	<b>パンフレットなどによる情報発信</b>  主要駅での観光情報案内の実施 ビジット・ジャパン・キャンペーン関連事業の実施 かわさき市民祭りの開催 「産業観光読本」の発行、「産業観光検定」の実施	<b>パンフレットなどによる情報提供・情報発信</b> 主要駅での観光情報案内の実施 外国人観光客の受入態勢の整備 かわさき市民祭りの開催 産業観光検定の実施 産業観光モニターツアーの試行実施	<b>パンフレットの見直し等による提供情報の充実</b>	<b>提供情報・情報発信手法の見直し</b>	<b>事業推進</b>  民間事業者による産業観光ツアーの事業化	
						→
						→
						→
						→

<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	・観光パンフレット「川崎日和り」及び観光協会連合会HP、川崎駅及び登戸駅に設置している観光情報端末機などにより積極的な観光情報の提供・発信を行いました。 ・「川崎日和り」(英語・中国語・韓国語版)の発行、外国人観光客向けホームページの作成及びビジット・ジャパン・キャンペーンにおける韓国メディア等招聘事業の実施(12月7日～12日)で外国人観光客の受入態勢の整備を行いました。 ・かわさき市民祭りを11月1日～3日開催し、578,000人を動員しました。 ・「川崎産業観光検定」に上級区分を新設し、平成21年3月に実施しました。 ・市内の産業観光施設を中心に、「川崎産業観光モニターツアー」を8回実施しました。
-------------	-------------	---

<b>シティセールスの推進</b> さまざまなメディアの活用や民間事業者との連携により、海外も含め、市内外に向けたシティセールスを推進します。	<b>専門紙(誌)・フリーペーパー等の活用によるシティセールスの推進</b> イメージアップ事業認定制度の推進 放送・出版関係者を対象にしたメディアツアーの実施	<b>専門紙(誌)・フリーペーパー等の活用によるシティセールスの推進</b> イメージアップ事業認定制度の推進 メディアツアーの拡充 海外向けパブリシティ活動の実施 情報の多言語化による情報発信の検討・実施	<b>メディアツアーの推進</b>  海外向けパブリシティ活動の推進 情報の多言語化による情報発信の推進	<b>事業推進</b>	
					→
					→
					→
					→

<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	・新聞、情報誌等におけるイメージアップ広告の掲載やパンフレットの製作・配布、プロモーションビデオの放映等により本市の魅力が市内外に情報発信しました。 ・イメージアップ認定事業として、8件を認定し、民間活力と連携した魅力づくりや情報発信を行いました。 ・各種メディアに対して、メディアツアーなどパブリシティ活動を積極的に展開し、様々な情報誌等に本市の魅力情報が取り上げられました。 ・情報の多言語化による情報発信について検討し、フォーリンプレスセンターを活用した海外パブリシティ活動の実施、在留外国人向けメディア(英字新聞等)の活用や多言語版パンフレットの製作・配布により海外に向けた情報発信を行いました。
-------------	-------------	---